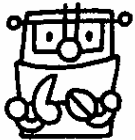


小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /
大地のしくみ / 理解シート

化石は、どんなところにあるの



化石がよく見つかる場所を探して行くといい、ビルなどの大理石のかべ、柱の表面を観察すると見つかることがあるよ。

化石は、たい積岩の中にある

化石は、水のはたらきでできる地層ちそうの中で見つかることが多いものです。そのため、地層がおし固められてできたたい積岩から、化石が見つかりやすいのです。

たい積岩の砂岩さがんや、ねん土が固まってできたでい岩、ねん板岩、けつ岩などは、地層の上下で割れやすい性質があるので、川原で、板のように平べったく割れた石を探してみましよう。この石を層の横からハンマーなどでたたいて割ると、木の葉の化石などがみつかることがあります。

化石が見つかりやすいという地層があり、石川県、福井県などに広がっている手取層てとりそうは、恐竜きょうりゅうの骨ほねがたくさん見つかることで有名です。化石が発見される場所は、がけなど危険な場所が多いので、指導の先生といっしょに出かけましよう。

ビルの大理石のかべや、柱、ゆかなどを探してみよう

銀行、ホテル、デパートなどの柱やゆか、かべなどに使われている、つるつるした大理石の表面をルーペなどで観察してみると、小さなアンモナイト、サンゴ、フズリナ、ウミユリ、さまざまな貝などの化石が見つかることがあります。

大理石は、石灰岩せっかいがんが変化してできたものです。石灰岩は、サンゴやフズリナの死がいや貝がらなどが、海底にしずんでたまったり、海水中の炭酸カルシウムがしずんでたまることができます。大理石は、たい積岩のグループに入ります。

大理石は、切られて切り口がみがかれているために、中に残っている化石が、切り口の角度がいいと、よく見えるのです。



ルーペで、大理石のゆかやかべから化石探しをしてみるわ！